ーム、二酸化炭素排出削減で社会貢献活動
ジット制度に基づく二酸化炭素排出削減事
ＥＣＯになる家の会」を運営しているミサ
このほど、同会が認証を受けた421トンの
排出削減分を全量買い取ると発表した。
の収益を、南極における地球環境観測活動
ため全額寄付するとしている。
になる家の会」は、一般家庭での太陽光発
酸化炭素排出削減効果を生かす全国初の仕
ミサワホームが考案したもの。太陽光発
などを設置した戸建て住宅、賃貸住宅のオ
意で入会してもらい、削減分を取りまとめ
国内クレジット）化する取り組みとなって

になる家の会」の12年11月末時点の会員数
組に達している。

道函館市にサービス付き
者向け住宅「グランメゾ
賓館　函館湯の川」（全
）を開設する。同社が高
住宅を開発するのは今回
めて。
月には東京都足立区（55
も開設を予定しており、
にはこれらを含めて全7
竣工する計画だ。
グランメゾン迎賓館　函
の川」は、ＲＣ造の地上
建て。間取りはワンルー
イプ（25～26㎡）。温泉
して知られる湯の川温泉
位置し、函館空港からも
トルバスで8分ほど。地
ら土地を賃借して同社が

「グランメゾン迎賓館函館
函館湯の川」完成予想図

建物を建設する。
通所介護事業所や訪問介護事業所、居宅介護支援事業所を併設する予定で、同社のグループ会社が介護サービスを提供する。

があり、西側を走る坂道の対面には日興パレス麻布狸穴、グランドメゾン狸穴などの小さなマンションが立

雰囲気が大きく変わる可能性がある。
「ブランズ麻布狸穴町」には4つの特徴がある。1

した。これに対応して、2台のエレベーターと階段室から構成される「上下動線コーナー」を、北入口と南

二丁目」に次ぐ認定物件になった。
3番目は、防災への配慮。まず、長期優良住宅として、

年間約26%削減する。
第1期販売は13年2月上旬の予定で、現時点では価格は未定。ただし、モデル

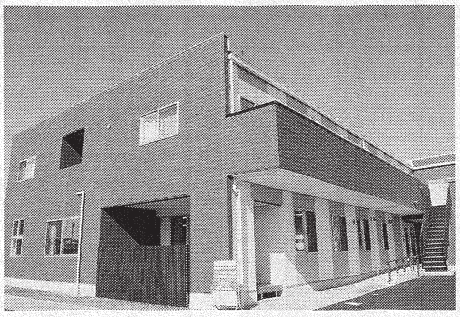
らフリーで活動。著書に、『ありえない家』『耐震偽装』『東京スカイツリーと東京タワー』ほか。

月額費用は、家賃が7万9000～8万5000円、共益費が1万8000円、サービス支援費が3万1500円、食費が4万9350円となる。
今後は、「建物の上層階に学生、下層階に高齢者が暮らし、互いに交流できる賃貸住宅を供給していきたい」（同社担当者）という。
同社は、1976年創業。全国で学生向けの賃貸仲介店舗「ユニライフ」を72店舗展開しており、管理物件は13

23棟・4万8579戸。昨年11月には、高齢者住宅紹介所「グランユニライフ」をオープンしている。

初のショートステイ開設
アズパートナーズ、都内練馬区で

有料老人ホーム運営のアズパートナーズはこのほど、東京都練馬区でショートステイ事業を始めた。デイサービスセンターや居宅介護事業所を併設する。同社がショートステイ事業を行うのは今回が初めて。
ショートステイは、家族が病気になったり、旅行などで介護ができないときに、高齢者が短期間だけ入所して食事や入浴といった生活援助などを受けるサービスのこと。
同社は練馬区内で2棟の介護付き有料老人ホームを運営しており、いずれもほぼ満室稼働している。待機者や地域住民から短期間利用の相談が多かったため、これまでの介護サービスノウハウを生かしてショートステイ事業を始めることにした。
今回オープンした「アズハイムテラス練馬」（練馬区土支田）は、延べ床面積1022㎡で、定員はショートステイ20人、デイサービス最大40人。東京都のショートステイ整備費補助金を利用した。
今回の開設で、同社の運営拠点は、介護付き有料老人ホーム9カ所、デイサービスセンター4カ所、ショートステイ1カ所となった。



初のショートステイ事業となる「アズハイムテラス練馬」

創立20周年祝う
クリエイトホームズ　鈴木社長　情報センター設立を表明

クリエイトホームズ（秋田市、鈴木真人社長）は12月4日、秋田キャッスルホテルで創立20周年記念祝賀会を開いた。
同社は「欲しい場所に、欲しい家を、欲しい価格で！」のキャッチフレーズで知られる住宅の販売会社。社員10人未満の規模だが、これまでに戸建て貸家、戸建て分譲住宅を累計1000棟以上供給しているユニークな会社だ。
鈴木真人社長の父親である鈴木憲一会長が、賃貸住宅入居者をターゲットに土地付きのローコスト戸建て住宅を提供するビジネスモデルを考案し、FC展開も行って軌道に乗せた。
式典であいさつした真人社長は、「ずっとやりたかったことだが、今こそ情報センターをつくりたい。お客様にマッチした住宅ローンのあっせんや、保険を紹介するなどワンストップによるコンサルティング型サービスの提供を目指す。住宅を取得したいが、所得が低いとローンがつかないケースもある。そのような顧客にも、様々な情報を集めて問題解決を図るようにしていけば、面白いビジネスができる」とセンター設立に意欲を示した。
祝賀会は秋田商工会議所副

省エネ照明で魅力的な空間を
1月15日にフォーラム

照明の省エネ対策を推進するため「省エネ・照明デザインフォーラム2012　省エネ照明から考える魅力的な空間づくり」（主催・環境省）が13年1月15日に、東京都千代田区の日経ホールで開かれる。有識者の基調講演やパネルディスカッションを通じて、省エネ・照明デザインや設計のあり方を探る。8月から公募してきた「省エネ・照明のの展望」。
パネルディスカッションのパネラーは、石井氏と元日本大学教授の大谷義彦氏、カワカミデザインルーム代表の川上元美氏、日本電球工業会専務理事の武内徹二氏。モデレーターは月間商店建築の山倉礼士編集長。
時間は午後1時から3時45分まで。参加無料。申し込みはホームページ(http://shoene-shomei2012.jp/forum-submit.html)から。

◆訂正　11月20日号1面掲